



中学部修学旅行

「やった！晴れた！」天候が心配されましたが、2日間とも好天に恵まれた修学旅行となりました。『最高』の青空の下、太陽の輝きにすさみ町から見下ろす海がまぶしく、バスの中も生徒たちはこの景色に『最高』と連呼していました。那智の滝では、見上げるほどの高さから流れ落ちる水に太陽の光がさし、神秘的な光景に感動していました。



太地くじらの博物館では、イルカや鯨に餌やり体験をしたり、イルカや鯨のショーも見たりしました。そして、いよいよ船に乗ってホテルうらしまに到着するとホテルの大きさに「すごい」という声が聞こえてきました。夕食もハンバーグにお寿司にお鍋にデザートと盛りだくさんでしたが、ほぼ完食していました。2日目のアドベンチャーワールドでもパンダを見たり、サファリパークでライオンや象などを見たり、動物たちに大興奮でした。友だちと楽しい時間を過ごせて中学部生活のよい思い出をいっぱいつくってきました。



和歌山県漁業士連絡協議会による魚食普及活動

各学部で、実施しました。最初にまき網漁業の紹介DVDを鑑賞し、まき網漁業の仕組みについて模型を使って説明を受けました。子どもたちは画面に釘付けで、巻き網漁業の仕組みの説明では、子どもたちは、まるで魚になったかのように逃げ回っていました。そして、合羽や長靴、救命胴衣も着て漁師さんになった気分でご満悦でした。その後、和歌山県で捕れる実物の魚を触ったりちりめんモンスター探しの体験をしたりしました。生徒たちは普段あまり見ることのない魚に興味津々で楽しい時間を過ごすことができました。



本物の魚をたくさんもってきてくれました。

参観日(小学部・中学部)

小学部では、「音楽」の授業の様子を保護者の方々に参観していただきました。小学部1・2年生は2限目に、3・4年生は3限目に、5・6年生は5限目に



実施しました。子どもたちはお母さんやお父さんが見に来てくれるとあって、いつもより気持ちも高ぶり嬉しそうでした。中学部でも、音楽発表ということで多くの保護者の方が参観してくださいました。ダンスを元気いっぱい披露したり、手話ソングでの「栄光の架け橋」と「カントリーロード」のメロディーベルの演奏をしました。体育館には、すてきな音楽があふれ、拍手喝采でした。

はまゆう作品展

12月17日(金)～19日(日)の3日間、今年度、はまゆう祭が新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となり、岩田公民館で「はまゆう作品展」を開催しました。各学部、寄宿舎で取り組んでいる「図工」「美術」「書道」の作品を展示しました。また、高等部の作業学習の製品も併せて紹介しました。たくさんの保護者のみなさまや、地域や関係機関の方々が来てくださり、「色のきれいな作品で見て楽しかったです」「心が温かくなりました」などたくさんのコメントをメッセージボードにいただきました。

